

地震が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。また、海岸付近で強い揺れを感じた場合は、すぐに津波の来襲することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難してください。

命を守る

●「頭を保護する」大きな家具から離れる
「丈夫な机の下」に隠れるなど、落ちてきて自分の身を守る。
ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。

家族を守る

●家族の安全を確認。
●火の元を確認・初期消火。
●目をかがさないように靴をはく。
●必需品を手元に用意する。
●衣類に注意。
●電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
●家屋倒壊などの恐れがあれば避難する。

地域を守る

●近所での安全を確認。
●避難行動要支援者等の支援。

情報が入りできない場合 (津波があるかどうか分からないとき)

●周囲の安全を確認し、速やかに高台などへ避難しましょう。
●津波の恐れがあるときも、津波警報が解除されるまでは戻らない!

●周囲の安全を確認し、速やかに高台などへ避難しましょう。
●ビルなどの屋内等で係員の指示がある場合は指示に従い、落ち着いて行動しましょう。
●津波の恐れがあるときも、津波警報が解除されるまでは戻らない!

●周囲の安全を確認し、速やかに高台などへ避難しましょう。
●ビルなどの屋内等で係員の指示がある場合は指示に従い、落ち着いて行動しましょう。

助け合いの心で

●協力して消火・救急活動。 ●揺れた家には入らない。
●水・食料は確保できたら。 ●引き続き衣類に注意。
●災害情報、被害情報の収集。 ●避難所では集団生活のルールを守る。

地震発生時には正しい情報を入力

正確な情報を入力は、的確な判断や、迅速な避難のために不可欠です。日頃から情報入手の方法を確認しておきましょう。

防府市メールサービス

携帯電話やインターネットメールを利用し、防災情報や気象情報を配信します。

【登録方法】下記URLからメールアドレスを登録し、送信されたメールの案内に従って登録してください。
登録先メールアドレス e-hofu@pref府.jp

※登録料金は無料です。

防災行政無線・テレフォンサービス

災害時における避難情報の緊急情報等を、サイレンと併せて放送します。また、放送内容は電話でも確認できます。

伊達線許可 伊達線対応
0800-200-2446 0800-200-2447

緊急速報メール(エリアメール)

緊急地震速報や、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報などを、対象エリアに一并に配信するサービスです。

防府市気象情報システム

防府市では、災害への備えや初動時の判断に必要な防府市気象情報・災害時などの緊急速報をインターネットで公開しています。

●パソコン用
http://www.miccoft.jp/hofu/

●携帯電話用
http://www.bousai-mail.jp/hofu/mobile/

FMわっしょい 77.3MHz

FMわっしょい(77.3MHz)の放送を利用し、防災情報をお知らせします。

津波に対する日頃の備え

避難方法の確認と浸水地域の把握、どこに避難するかなど、事前に備えておきましょう。また、家族と避難場所や連絡方法を確認しておくことが大切です。

正しい知識の習得

●日頃から津波に関する正しい知識を得直し、発災時に安全に行動できるようにしましょう。

家族を話し合っておく

●津波が発生したとき、どこに避難し、どのようにして連絡を取り合うか、家族で事前に話し合っておきましょう。

非常持ち出し品の準備をしておく

防災マップを確認する

●日頃から津波に関する正しい知識を得直し、発災時に安全に行動できるようにしましょう。

避難訓練に参加する

●避難経路の安全性の確認のために、地域の避難訓練に参加しましょう。

●避難行動要支援者への支援方法について、話し合うようにしましょう。

| 食料・飲料水 | 救急・安全関係 | 貴重品 |
|--|---|--|
| ●乾物(米・300gパックのもの) ●缶詰 ●パン(クラッカー・食パンなど、袋を破らずにでも食べられる物) | ●ヘルメット(国産品可) ●救急用品(ばんそうこう・傷薬・包帯) ●薬(処方薬・お薬手帳など) ●ライフジャケット | ●現金 ●預貯金簿、印鑑 ●クレジットカード ●健康保険証 ●権利証書 ●免許証 |
| 日用品 | 衣類など | その他 |
| ●筆記用具 ●ライター ●ナイフ、包丁 ●ティッシュペーパー ●懐中電筒 ●ニール袋 ●懐中電灯 ●携帯電話 ●スマートフォン ●携帯電話充電器 | ●衣類(下着) ●タオル ●毛布 ●手袋、軍手 ●長靴 ●スリッパ | ●洗面用具(歯ブラシ・石けん) ●ほ乳びん ●経絡つむ ●メガネ |

想定される津波(地震)

山口県では、南海トラフの巨大地震および周防灘断層群部の地震を対象とし、津波浸水想定区域を公表するとともに、被害想定調査を実施しています。

| | 南海トラフ巨大地震 | 周防灘断層群主部 | 佐波川断層 |
|-----------|---------------------|-------------------------|-------------------------|
| 最大津波高(標高) | 3.1m | 2.9m | — |
| 最大震度 | 5強 | 6強 | 6強 |
| 人的被害 | 死者 約14人 負傷者 約14人 | 死者 約205人 負傷者 約1,929人 | 死者 約291人 負傷者 約5,779人 |
| 津波被害(全壊) | 約219棟 | 約923棟 | 約5,779棟 |

※南海トラフ巨大地震の想定及び周防灘断層群主部の津波水位は「山口県地震・津波防災対策委員会」、周防灘断層群主部の津波水位以外の想定及び佐波川断層の想定は、「山口県地震被害想定調査報告書」によるものです。

防府市周辺の活断層と南海トラフの想定領域



緊急地震速報を見聞きしたら...

「緊急地震速報」は、最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に報道機関や防災機関からみなさんに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒〜数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

| 家で... | 屋外では... | 人がおおい場所では... |
|---|---|--|
| ●頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。 ●あわててへび回るなどしない。 ●燃える火を消そうとしない。 | ●ブロック塀の倒壊などに注意する。 ●看板や倒れたガラスの落下に注意し、文字や色などあれば、ビルの中に避難する。 | ●指図の係の指示に従う。 ●落ち着いて行動する。 ●あわてて出口に走り出さない。 |

周囲の状況に応じて、あわてず身の安全を確保しましょう!

| 自動車運転中は... | エレベーターでは... | 鉄道やバスでは... | 山やがけ付近では... |
|--|---------------------|-----------------|----------------|
| ●あわててブレーキを踏まない。 ●ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止する。 | ●エレベーターで停止せ、すぐに降りる。 | ●揺れや手すりにつかつかまる。 | ●山やがけ付近には注意する。 |

津波避難の心得

- 正しい情報を知る**
ラジオ・防災無線などで、正しい情報を知りましょう。
- 小さな揺れでも油断禁物**
たとえ小さな地震でも、津波が発生する危険性があります。
- より高い場所へ避難する**
海岸がより遠くではなく、「より高い場所へ避難しましょう。」
- 海岸・河川に近づかない**
「津波」が解除されるまで、海岸や河川には近づかないようにしましょう。
- 車での避難は控える**
車は、約30cmの深水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。
- 安全なルートで避難**
川べり、地下道などは避け、できるだけ安全な広い道を避けましょう。

津波避難ビルを知っておきましょう

津波から身を守る大原則は「高いところ」に逃げます。しかし、さまざまな理由で津波から身を守ることが難しい場合があります。そんなときは、「津波避難ビル」などの建物の上階部に避難する方法があります。防府市では、今後津波避難ビルを指定する予定ですので、どこに津波避難ビルがあるのかなど事前にチェックしておきましょう。

津波避難に関するマークを覚えておきましょう

| 津波注意 | 津波避難場所 |
|--|-----------------------------|
| 「地震」が起きた場合、津波が来襲する危険性が高い地域を表しています。 | 「津波」に対して安全な避難場所(高台)を表しています。 |
| 津波避難ビル | |
| 「高い」高台が無い場合に利用する。津波から避難できる高さ・耐震性を有するビル(津波避難ビル)を表しています。 | |

※防府市では、順次指定していく予定です。

津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁から「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さの大きいほど損害が大きくなることを踏まえ、5段階に集約されています。

| 予想される津波の高さ | とるべき行動 | 想定される被害 |
|------------------|--|--|
| 10m超 (10m<高さ15m) | 沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 | ●本道警報が全壊、大被害します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 |
| 10m (5m<高さ10m) | 沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 | ●高台の低いところは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 |
| 5m (3m<高さ5m) | ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう! | ●高台の低いところは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 |
| 3m (1m<高さ3m) | 高い | ●高台の低いところは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 |
| 津波警報 | ●高台の低いところは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 | ●高台の低いところは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 |
| 津波注意報 | ●高台の低いところは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 | ●高台の低いところは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 |

- 震源が陸地に近い津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などにより局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが200m未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も高潮変動が継続する場合には、「津波警報(若干の高潮変動)」が発表されます。

津波予報

地震発生後、津波による被害が起こる恐れがない場合には、津波予報が発表されます。

| 発表される場合 | 内容 |
|--------------------------|---|
| 津波が予想されないとき | 津波の心配のない旨の地震情報に含めて発表 |
| 0.2m未満の高潮変動が予想されたとき | 高いところで2m未満の高潮変動のための被害の心配がなく、特段の防災対応の必要がない旨を発表 |
| 津波警報・注意報の解除後も高潮変動が継続するとき | 津波に伴う高潮変動が軽減されており、今後継続する可能性が低い場合、海に入っている作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要である旨を発表 |

津波の特徴

地震・津波はいつ、どこで発生するかわかりません。津波が到達するおそれがある場所にいるときは、できるだけ早く、高いところへ逃げる必要があります。津波の特徴を知っておきましょう。

恐るべき津波の破壊力

●普通の波浪と違い、津波は海底地形の上下による海水全体の動きのため、海面から海面までの海水が巨大な塊として移動し、押し寄せ、その破壊力は想像以上になります。
●津波は長時間にわたって襲ってくるため、家屋などが一旦中心へ押し込まれてしまいます。

津波は繰り返し襲ってくる

●津波は繰り返し襲ってきます。また、最初に到達する波が最も大きいのは誤りです。
●一度波が引いても、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

津波は河川を遡る

●津波は河口から侵入し、河川や湖沼にも遡ります。遡った津波は、河川堤防を越え、沿川地域の大きな被害をもたらすことがあります。

水深が浅くても危険

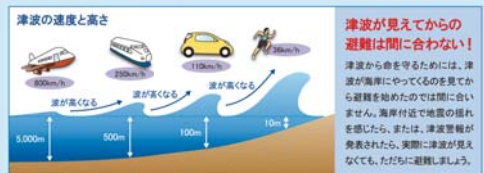
●中程度の水深でも津波は襲ってきます。浅い水深でも津波の被害が大きくなります。

引き波がある時は頼らない

●津波は引き波から始まる場合もありますが、引き波の時は、津波の被害が軽減されます。しかし、引き波の時は、津波の被害が軽減されます。しかし、引き波の時は、津波の被害が軽減されます。

津波の伝わる速さ

津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれ遅くなる波の津波に追いつき、波高が高くなります。



わが家の防災メモ

避難場所: _____ 家族が離ればなれになった時の集合場所: _____

| 家族の連絡先 | 名前 | 性別 | 生年月日 | 血液型 | 会社や学校の連絡先 | 携帯電話番号 |
|--------|----|----|------|-----|-----------|--------|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

避難場所までの経路

自宅から避難場所までの経路を書き込みましょう

避難所から命を守るためには、津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めたのでは間に合いません。海岸付近で地震の揺れを感じたら、または、津波警報が発表されたら、実際に津波が見えなくても、ただちに避難しましょう。